# 共生型サージと安心は地域で、事業

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



報告書

2012年度

<sup>○</sup>特定非営利活動法人子育て支援ワーカーズプチトマト ○特定非営利活動法人ナルク札幌さくらんぽ

<sup>○</sup>特定非営利活動法人ぱすとらる ○特定非営利活動法人工房ぶら里 ○麻生商店街振興組合 ○あさぶ亜麻保存会

### はじめに ……10

共生型サロブ・・・・・2p

講演会……5

ご近所失生講座……。

きっかけ セッション ・・・・・。

視察報告 ……10p

元気は地域づくり委員会 ……120

**あわりに**……13p



# はじょうに

共生型地域づくり、安心な地域ってなんでしょう。 核家族化や都市化が進み、となり近所に、誰が住んでいるかもわからないマンション住まい。戸建の住宅地でも、お互いさまの関係というより、なるべく関係をもたないような一歩引いた地域のかかわりがあります。そんな中、様々な人が交流できる居場所をもっともっと発信し、かかわりを持ち、共生型ということばを私たちも含めて、地域の様々な人たちに実感してもらいたい!そして、麻生を誰もが安心して住みやすい地域にしたい!と思いました。

共生型サロンがある麻生は、商店街や町内会、NPOと連携して、様々なイベントを企画、運営してきているまちです。その関係をもう少し深めて、地域を豊かにできたらいいなと思い助成金事業に応募しました。この報告書はその記録です。

共生型サロンを運営しながら、地域にむけて様々なイベントや講演会を実施して、地域で関わりをもつということを発信してきました。そして、持続可能な地域社会にするために立ち上げた元気な地域づくり委員会とそのメンバーでの先進地視察は、安心な地域づくりに欠かせない視点を私たちに与えてくれました。

私たちが行っている事業や活動はそれぞれ違うものですが、地域を豊かにするということでは、みな同じ使命をもっています。今回の連携事業で、私たちがつながったように、地域の人たちもつながっていけたら、もっとすてきな社会になるのではないでしょうか。

連携の機会を与えてくれた独立行政法人福祉医療機構の皆様に感謝いたします。

私たちのこの取組が、地域のまちづくりを考えている方、行政、NPO、様々な 方たちのヒントになることを願っています。

### 参加団体

特定非営利活動法人子育で支援ワーカーズプチトマト 特定非営利活動法人ナルク札幌さくらんぼ 特定非営利活動法人ぱすとらる 特定非営利活動法人工房ぶら里 麻生商店街振興組合 あさぶ亜麻保存会

1

### 4年型サロリ

### 共生型サロンって何?

富山県の富山型デイサービス\*がモデルになっています。昨年、 メンバー数名が富山型ディサービスにボランティアに行きました。 年齢も障がいの壁も越えた、一人ひとりを人間として尊重した関 わりに感動し、みんなが家族で、足りないことはみんなで助け合 うという体験をしたことが、きっかけになっています。障がいの あるなしに関わらず、赤ちゃんから高齢者まで、みんなが気軽に 集える居場所が地域にあったらいいな、富山型のような居場所を 創りたいと思いました。おたがいさまも伝えたい!

スタッフ6名、ボランティアさん7名

\*高齢者、身体障がい者、知的障がい者、心身障がい児、幼児がひとつ屋根の 下で暮らせる共生社会の実現を目指し、「富山型デイサービス推進特区」事業を 行っています。「共生型デイサービス」「共生ホーム」とも呼ばれ、富山県内では、 30ヵ所近く運営されています。

○語りあいから生まれる交流、○支え合い、お互いさまのこころ ○様々な価値観を感じることで広がる視野 ○迷惑をかけて育つ ○その人のいいところをみつける



人間関係が苦手な○○さん。子どもはいいが大人だけだと自分からは難しい。ス タッフが間に入ると、話ができる。スタッフは、○○さんの得意なことや好きなこ とを引き出そうと話しかける!だんだんに、心がほぐれていくのがわかる。

### エピソードク

「子どもは、体験から学ぶんだ」が持論の○○さん。今日も、危ない、だめだめと言っ ているママたちに持論を展開。最初は、怖がっていたママとスタッフ。それも一理 あるよな~、その通り!と思うこのごろ…。○○さんも、全部おれの言う通りにし なくていいんだぞ~だって…。

### エピソード3

常連の○○さん。赤ちゃんが大好き。今日は、赤ちゃんこないか なあ~と待っていると、双子ちゃん!5か月!ご来店!しあわ せ~と抱っこする○○さん、ママもゆっくりできて、しあわせ。

### エピソード4

いつも声の大きい○○さん。外で会っても声が大きい。「この間、 バスで会って」と小さいお子さんをお持ちのママ。大きい声だ からと言いながらも、声をかけてくれたことを喜んでいた。







子ども	大人	70代	合計
869人	2596人	166人	3631人

### スタッフの力と少しのおせっかい

- ・受け入れる力
- ・つなげる力
- ・引き出す力

個性的な人や子どもを理解するのには時 間がかかります。その人のいいところを 見つけ、それを伝えていくことで楽しく なったり、自信が持てるようにできたら いいなと思います。戸惑いがあるのは当 然、トラブルもあっていい。いろんな価 値観を受け入れ、ちょっとだけ背中を押 すおせっかいをしていきたいです。

### アンケートから

・世代に関係なく、話すことができる、気軽に利用できる(60代女)

▲毎月発行の予定表。

イラストはボランティアの

坂下沙紀さんが担当。

・あたたかい雰囲気がよい(10代女)

cafe亜麻人 and 2月号

- ・誰とでもお友達になれるところがよい(70代女)
- ・気兼ねなく、その上出会いもあり、なんだか楽しい。(60代女)
- ・とても落ち着ける雰囲気で長いしてしまいました(40代女)
- ・子どもが楽しそうなので、毎回連れてこようと思う。(30代女)
- ・スタッフの皆さんが、とても安心感を与えてくれる(30代女)
- ・いろんなイベントを行っているのがよい (30代女)
- ・落ち着ける。赤ちゃん一緒でも気にしなくて良い(30代女)
- ・のんびり~とできる。たたみがあり、子どもが遊べる(ヒミツ年代女)

### スタッフの感想

様々な年代の人がお茶を飲みに来ておしゃべりで きる。子どもたちは遊び、縫い物や編み物などの 手仕事、ベビーマッサージやヨガを教えてもらえ る。ほっとできて何かしら元気になれるここのス タッフができて良かったです! [佐々木]

この場所を訪れた人たちが、ちょっと一息ついて 誰かと知り合って、心が少しだけ暖かくなって頂 けるととても嬉しいです。でも、一番エネルギー を貰っているのは、私たちスタッフのような気が

カフェに来ると誰かとおしゃべりが出来てほっ とする。こどもたちは嬉しそうに遊びまわり、地 域の方とも触れ合いながらまわりの人たちも笑 顔にしてくれる。そんな様子を見ているスタッ フも元気を貰い「温かくて大切な場所」と感じ ています。「橋本〕

ふとした会話が笑顔を呼び、心をほぐしてく れる。誰かを思い誰かと重ね思いを寄せて、 この場所を訪れてくれる方皆さんなんだか暖 かい!と元気の種を頂いています。[新田]





### さくらんぼの共生型サロン報告

日々の共生型サロンでは月12回10ヶ月間で120回(延べ約1,000名の参加)開催し、「パソコンちょっとさわらせて・・・」から始まり、麻雀や手芸など、互いに教えあったりしながら、おしゃべりに華を咲かせておりました。特に健康情報などが喜ばれたようで、獣医師や保健師などもいるので、ペットの躾の話や栄養相談、ダイエットの秘訣なども、ひっきりなしにあり、喜ばれておりました。





また、ボランティアの日を多く設定し、お誕生日の 方へのプレゼントの品々を手作りしました。東北大震 災被災者への贈答品(70 点程の防災頭巾やバックなど を作って送っている)を、古着物等で製作し、町内会 と共に仙台の仮設住宅に住んでいる被災者へ持参すべ く準備しました。

障害のある人も、父子、母子の方にも、高齢者や独居老人の方も、商店街の方々も、どなたでも集まっていただけたことは、サロン冥利でありましたこと、また機会があったら是非続けさせて頂きたいと思います。



### さくらんぼ共生型サロン参加者の内訳

子ども	大人	70代	合計
6人	580人	496人	1082人

### 地域コミュニティを学ぶ

~富山型ディサービス実践の二人の魔女から~

2012年10月28日(日) 10:00~12:30 参加者:85人

講師:阪井由佳子さん(ディケアハウス「にぎやか」代表) 宮袋季美さん(地域生活支援交流ハウス「ふらっと」代表) 場所:札幌エルプラザ

赤ちゃんからお年寄りまで、障がいがあってもなくても 受け入れる「富山型ディサービス」。

「共生型」の名で道内でも増えつつあります。20年近く前から民間での取り組みが進む富山県からお二人を講師にお招きしました。

このような施設が地域に受け入れてもらうために苦心されたこと、受け入れられてからの住民の方々との交流。看取りのお話しでは、死を迎えようとしている方と利用者の方々(小さな子や障がいのある方も)との関わりや、看取った側が死を受け入れるまでの葛藤なども丁寧に語っていただきました。

後半は来場者からの「資金は?」「運営にあたっての苦労」「スタッフのお給料」などの質問にユーモアを交えながら答えていただきました。「母が少し側を離れた時に亡くなってずっと罪悪感を持っていましたが、講演を聴いて納得できました」と語る来場者もいました。





講師の宮袋季美さん

LE KIN

今回の講演会のために共生型サロン 常連の二本柳朴宗さんが一文字を書 いてくださいました。





# ご近所,先生講座

身近なところにいる特技をもった人を発掘して、講師になっていただき、地域 の方々に新しい発見やふれあいが生まれました。また、フリーマーケットや三 世代交流イベントなど催しを通じて、多くの方々が交流する機会をつくりました。



### 1回目「麻生今昔それから・ミニ体操 |

2012年6月4日(月) 10:00~12:00 参加者:13人 講師:田中巌さん 場所:さくらんぼ

参加者13名で肩凝りなどこわばった身体全体をほぐし、血 の巡りもよくなって健康増進に一役買いました。その後は、 お菓子を頂きながらアレコレと昔話に花が咲き、笑顔笑顔で 終了しました。田中先牛のコメント「こんな楽しいことなら、 またやりましょう。皆、とても元気になり、和気あいあいで よかったね~|



### 2回目「みんなで手品を楽しもう!!

2012年6月18日(月) 10:30~11:30 参加者:8人 講師:一行堂さん 場所:café亜麻人

ピカピカの衣装に着替え、プロのマジッシャンのような一行 堂さんでした。80歳なのにとても元気で手品もさることなが ら、話術も上手で笑いもたくさんでした。種明かしをして、 新聞紙の手品など教えていただきました。最後に白いハトも 出てきてみんな目を丸くし拍手喝采でした。



### 3回目・4回目「古着のリメイクブラウス製作 |

8月26日(日) 10:00~15:00 参加者:17人 講師:今井恵美子さん 場所:さくらんぼ

今井恵美子先生とその教え子達による古着物の再生(リメイ ク) ブラウスの製作に挑戦しました。両教室はイモの子洗う が如し、17名ずつ34名が参加し、大盛況。いかに人気があ るのかがうかがえました。只今、チュニック丈のオーバーブ ラウスは最も現在のトレンドファッションで、女性の老いも 若きもこぞって参加してくれました。



### 5回目「いつまでも輝く女性でいるために」

2012年7月20日(金) 10:30~12:00 参加者:11人

講師:木村美帆さん(エナ大通クリニック医師) 場所:café亜麻人

思春期や更年期の女性の体に関する情報が欲しいとの声があ り、開催した講座です。思春期の子どもを持つママの関心は 子宮頚ワクチンの事で質問もたくさんでました。また、更年 期について気になる方も多く熱心に聞き入っていました。講 座の後にワクチン接種や検診に行った方も多かったようです。



### 6回目「ぷちヨガ」

2012年9月12日 (水) 11:00~12:00 参加者:9人 講師:村上純子さん 場所:café亜麻人

身体を動かす事を忘れていたこの?十年、久しぶりの ストレッチ。あちこち硬くなっている身体。でも階段 を上がる時不思議なくらいいつもより楽に足が上がり ました。年齢を重ねて行くと転倒や怪我が増える?今 後、楽しく軽やかに過ごす為に柔軟な身体を保つうえ でも続けて行きたいと思った講座でした。

### フリーマーケット

### 2012年9月17日(敬老の日) 10:00~15:00

北区麻生ダイエー前駐輪場スペースと北陸銀行前 をお借りして開催しました。18店の出店があり、 うち2店は子ども店長さんでした。「いらっしゃ いませしのかわいらしい声に通りがかった人は皆

さん足を止めて会話が 弾んでいました。売上 は??でしたが、たく さんの人と交流し繋が る事が出来たイベント となりました。



### 三世代交流イベント

### 2012年7月27日(金) 9:30~13:00

多世代によるゴミ拾いイベントにゴミ拾い侍が登 場! 拾ったゴミを燃えるゴミ、燃えないゴミ、資 源ゴミにみんなで分別。「この小枝はどこのゴミ

かな??」「この缶 は?」とゴミ拾い 侍さんの指導で-段と楽しく学ぶこ とができました。



### きっかけ セッジョン



### 1回目「身体によいごはんを食べる会」

2012年9月19日 (水) 11:30~13:00 参加者:8人 講師:河野節子さん 場所:café亜麻人

手作りならではの、添加物の少ない優しい味付けのお料理で、品数の多さにも感激しました。レシピも教えて頂きながら、食の大切さを実感したひと時でした。おしゃべりを楽しみながら、バイキング形式でお腹いっぱい頂き、参加者全員の身体も心も満足、満足!!



### 2回目「超個性的を語る会」

2012年10月6日(土) 18:00~20:00 参加者:13人 講師: ぱすとらる 横井さん、工房ぶら里 岡本さん 場所:カフェ工房ぶら里

今回の連携団体のぱすとらるとぶら里の代表の方に、それぞれの事業の 内容とどんな方たちを支援しているかを伺い、障がい福祉に対する理解 が深まった。児童ディサービスや保育園で、障がいのあるお子さんを預 かっていた方の参加もあった。超個性ということばが、共生型というこ とばの意味につながり、障がいという垣根を越えて自然に仲よくなれる 世の中になったらいいという声があった。



### 3回目「手仕事クラブ」

2012年10月29日(月) 10:30~12:00 参加者:7人 講師:工房ぶら里 荒木恵美子さん 場所: café亜麻人

子どもがいると、思うように手芸をする事が出来ないママ達のために託 児付きで行いました。3名のママが子どもを預けて参加。他のママとワ イワイおしゃべりしながら手鏡を作りました。布の選びかたで雰囲気の 違う物が出来るので布選びも真剣でしたが、出来た物に感激!!



### 4回目「0歳~99歳まで遊べるおもちゃの会」

2012年11月4日(日) 10:30~12:00 参加者: 大人21人、子ども15人 講師: 小樽キンダーリープ 店長 杉本さん 場所: café亜麻人

年齢別のおもちゃやゲームの紹介の後、実際に体験して遊びました。 0歳から80歳までの方が参加し、笑顔で異世代交流も楽しんでいました。 普通のおもちゃ屋さんでは出会えない多種のおもちゃやゲームに子 どもだけではなく、大人も目をキラキラ輝かせていました。 社会に目を向けるきっかけになるような講座を企画し、地域の人との交流を図りました。 この講座がきっかけで、サークルや勉強会などが発足したらいいなという願いも込めて行いました。



### 5回目「ママのお仕事を考える会」

2012年11月15日(木) 10:30~12:00 参加者:大人6人、子ども8人 講師: (株) 北海道アルバイト情報社 川上さん 場所: café亜麻人

最近のママは子どもが少し大きくなると、再就職を考えるかたが殆んどです。この日は中学生もインターシップで来ていたので、一緒に参加して履歴書の書き方や面接の際1番大切な事は面接官の話しを聞く事と教えられ、ワークショップで話す事、聞く事の練習をしました。後日就職した方もいました。



### 6回目「「子どもが主体のまちづくりの会」

2013年1月9日(水) 10:30~12:00 参加者:8名 講師:NPO法人ゆうらん 松本公洋さん

場所:麻生地区会館

麻生児童会館の小中学生8人が参加。全国の面白い公共交通のスライドを観賞後、自家用車の CO2 排出量の多さなどを学んだ後、グループで「麻生がこんな街になってほしい」という夢を絵に描いてもらいました。CO2 を取り込んで酸素を排出するエコ椅子やお年寄りに寄り添うロボットなどアイディアと優しさがあふれる絵が描きあがりました。



### 7回目「イクジイ&イクメンの料理教室」

2013年1月26日(土) 10:30~12:00 参加者:5人

講師:NPO法人RSジンジャー 高柳礼緒奈さん 場所:café亜麻人

5名の参加者と、3名のお手伝いのシニアサロンさくらんぼの方々でに ぎやかに開始。メニューはお肉を食べられない参加者のために「豆腐ハンバーグ」と「ブロッコリーと人参のサラダ」です。IH ヒーターひと つでも講師の技と参加者の適応力で素晴らしい料理が完成! 調理しな がらの交流も楽しく、出来上がった時の達成感はひとしおだったようです。次回を希望するうれしい声もありました。



### 8回目「あさぶまちづくりワークショップ」

2013年2月16日(土) 10:00~12:00 参加者:21人

講師:(株)KITABA副社長 神長敬さん 場所:麻生地区会館

町内会、商店街、連携団体の方たち、子育で中のママ、大学生たちが4グループに分かれて、ワークショップをしました。講師でコーディネート役の方のリードがよく、麻生のまちのよいところを年代や立場がちがう人たちそれぞれの意見が聴けました。麻生のまちのよいところ、改善したらよいところが、視覚的にもわかる新しい手法で、全体を分析でき

ました。参加者の意識も高まったワークショップでした。

### 視察報民告

連携団体の 9名が参加

### 「サロン・ド・天人(コミュニティカフェ)」

大阪府大阪市北区中崎西 視察日程:2012年10月15日(月)

大阪の下町にある古民家再生のコミュニティカフェ。 地域の住民が集う場であり、若手芸術家の発信の場 としても活用されている。



下町にある住宅街の一角。視察訪問時は昼間の為か 高齢者の方が多くみられた。



### 「長浜まちづくり役場・商店街見学」

### 滋賀県長浜市元浜町 視察日程:2012年10月16日(火)

滋賀県長浜市では、市街地を活性化した第三セクター「黒壁」の成功をきっかけに、様々な団体が連携し、まちづくりに取り組んでいる。(株) 黒壁をはじめ多くの法人・団体が設立されたが、現在は、NPO法人「まちづくり役場」が中心となって取り組みがすすめられていた。

年間 200 万人におよぶ観光客が訪れる商店街である 反面、17 時以降は閉店する店も多く、地域住民にとっ ては利用しづらいという点が、今後の課題として挙 げられていた。



商店街の中に、NPO法人「まちづくり役場」があるが、素 通りしてしまいそうな外見。中は、会議ができるようにセッ ティングされ、市民活動団体の書籍等も販売されている。



視察当日、「長浜戦国大河ふるさと博」が開催されていた。PRの旗が飾られ、端正な街並みが続いている。



井戸端道場(同世代・異世代の交流の場の喫茶店)



リサイクル工房

### 「暮らしづくりネットワーク北芝/らいとぴあ21」

大阪府箕面市北芝地域

視察日程: 2012年10月17日(水)

大阪府箕面市北芝地域は、被差別部落として部落解放運動がきっかけとなり、住民が主体的に街づくりを行っている先進的地域である。NPO法人暮らしづくりネットワーク北芝を中心に、高齢者、子どもといった地域住民が主役となり、イベントやサークル活動が実施され、そしてなにより数多くの独自なソーシャルサービスが展開されていた。



遊休地活用として行われている、こちらの雑貨屋さんは 放課後児童にとっての大切な集いの場となっている。

### 北芝共済制度「おたがいさま」

自治会に加入している 60 歳以上の高齢者や就学前、小学生の子どもがいる子育て世代を対象にした地域独自の生活支援サービス

[主なサービス]

- ・買い物代行・電球の付け替え等生活支援
- ・送迎サービス・昼食の配食 等

**※**近所に買い物に行くのも大変で引きこもりがちになる高齢者が多い中、 送迎サービスはニーズが高い。



2003年に実験運用された地域通貨『100 芝楽』 の企画・導入は、地域の住民、NPO、教育機関、 企業が手をつなぐきっかけとなった。



おなじく遊休地活用がきっかけとして開店されたコミュニティレストラン nico は、地域住民の集いの場のみならず、曜日や時間によっては喫茶店や居酒屋として貸し出され、若者世代の起業の場としても活用されている。

### 活力を生かしたまちづくり: 感想

今回の視察では、NPO法人を中心として、地域住民や商店街といった様々な団体が、地域の問題を解決する為に共働している点が多くみられた。その第一歩として、わがまち麻生においても「どのような街にしていきたいか」「その為には何が必要か」を、麻生に関わる多くの人間が、主体的に議論する必要性を感じた。

### 13

### 元気は地域づてり歩員会

子育てしやすい安心な環境をつくるため、持続可能で元気な地域づくりを模索する委員会を、行いました。委員会というネーミングでしたが、連携団体のメンバーと大学生などの参加や聴講も歓迎し、全5回、地域を豊かにしている実践例を学習しました。道工大の濱谷先生と出会ったことがきっかけで、この委員会を開催でき、本当に感謝しています。人のつながりを大切にして、地域の人をつないでいくことがこれからの、豊かな社会、子育てしやすい安心な環境をつくることに結びついていくことを実感した学習会でした。

### 第1回「大学の地域連携・交流活動から見えてくる持続可能なまちづくりとは?」



2012年11月20日(火) 18:00~20:00 参加者:11人(委員7人、他4名)

ていね夏あかりなどの現場をとおして

講師:濱谷 雅弘氏 北海道工業大学 未来デザイン学部人間社会学科教授

まちづくりとは、人づくり。地域の一人ひとりが楽しんで、主体的に参加できる取組を学習。手稲の取組が、他の地域に展開している事例から、麻生には、どんなキーワードがあるのか、新しい価値を創造し、責任世代として、子どもたちに安心なまち、楽しいと思えるまちを残していきたいなと思いました。

### 第2回「三世代交流のソフトとハードづくりによる持続可能な地域活性化とは?」



2012年12月4日(火) 18:00~20:00 参加者:12人(委員7人、他5名)

地域通貨の現状と可能性から見えてくるもの

講師:酒本 宏氏 株式会社 KITABA 代表取締役社長

地域通貨も含めた、三世代交流の取組の実践例を学習。地域通貨では、発寒北商店街が取り組んでいるアトム通貨、札幌市のまちのわの取組を学習。三世代交流を促す地域通貨の活用イメージができました。 地域通貨の課題なども見えてきました。

### 第3回「コミュニティビジネス・地域ブランドによる持続可能な地域づくりとは?」



2013年1月8日(火) 18:00~20:00 参加者:18人(委員7人、他11人)

現在進行形の地域から見えてくるもの

講師:竹ノ内 久氏 株式会社コムズワーク代表取締役

富良野マルシェを地域の人と一緒に考えプロジェクトを支えたお話は、住んでいる人を尊重し、その人たちに寄り添い心から応援していく講師の方の思いが伝わりました。また、持続可能な地域にするために、一人だけでなく地域全体が儲ける什組み、ビジネスとしての各地の事例がとても参考になりました。

### | 第4回 「地域住民(市民)と商店街関係者とのまちづくりの取り組み合意から始まる持続可能な商店街活性化とは?」



2013年2月18日(月) 18:00~20:00 参加者:17人(委員7人、他10人)

小樽商科大学生の活動の現場をとおして

講師:大津 晶氏 小樽商科大学 商学部社会情報学科准教授

大学生と地域をつなげた様々な取り組みに驚きました。キャリア教育という観点が、学生たちを育てるのに必要なことだけでなく、地域の人にとっても必要なのではないかと思いました。学生と地域の大人たちが相互に学び合い、地域が豊かになっていく事例がすてきでした。また、スマートフォンを利用した地域通貨の取組が参考になりました。

### 第5回「まとめとハード事業による元気な地域づくりの事例から学ぶまちづくり手法とは?」



2013年3月13日(水) 18:00~20:00 参加者:15人(委員7人、他8人)

都市計画/市街地再開発事業によるまちづくり

講師:濱谷 雅弘氏 北海道工業大学 未来デザイン学部人間社会学科教授

再開発の元プロが実際に行った再開発の事例とその流れをお聞きし、これからの麻生のまちをハード面からも変えていけるのだということになんだかわくわくしました。持続可能な社会にするために、私たち大人が子どもたちに何ができるか、これからもこの委員会を継続していけたらいいと思いました。

### 

地域の6団体が力を合せて16のイベント、講演会、視察、5回の元気な地域づくり委員会を行ってきました。実施主体のプチトマトのメンバーの皆様、本当にお疲れさまでした!この事業を通して、私たち自身が共生型について、意識して考えることができたのが収穫だったように思います。そして、まちづくり!地域づくりの主体は、そこに住んでいる人たちです。でもそこに関わっている私たちのような団体が、コーディネーターになってまちを変えていけること、つながること、つなげることで、地域を豊かにできることを連携団体のみんなで共有できたことが、この事業の一番の財産です。元気な地域づくり委員会のコーディネーター役をお願いした北海道工業大学の濱谷雅弘先生に心から感謝申し上げます。本当に、ありがとうございます。そして濱谷先生を通して出会うことができたすてきな講師の方々、お忙しい中本当にありがとうございました。これからも?よろしくお願いします!

子どもたちのために、今私たちができること!気がついた人から、行動を起こしていけたらいいなと思います。さいごに、元気な地域づくり委員会のメンバーの感想をご紹介します。

まちづくりを真剣にやりたいと思ったら、本気、やる気、元気、そして気配りの4つの気が必要。 濱谷先生のバイタリティと肝のすわった太っ腹に拍手を送りたい。

NPO 法人ナルク札幌さくらんぼ 八百坂康子

「この街を好きだ」というヒトの集まりと、「その為に何をするか」という共通目標(イベント や地域通貨など)が揃うと、どんな地域も面白くなるという事を学びました。

NPO 法人 ぱすとらる 横井和徳

まずは地域のニーズを正確に把握する事、そして何よりも『実行すること』が大切であると学ばせて頂きました。

NPO 法人 ぱすとらる 安部裕一

構成メンバーである5団体が目的を共有し、1年を通して活動できたことは大きな財産となりました。是非、今後につなげていきたいと強く思いました。

麻生商店街振興組合 理事 佐藤典子

元気な地域づくり委員会で、講師の先生の話を聴くたびに、麻生でのまちづくりのアイディア が湧いてきました。

あさぶ亜麻保存会 佐藤薫







麻生児童会館の小中学生が描いた未来の麻生